

# あなたは しゃべってばかり いる？

おしゃべり虫は、おしゃべりが 大好き。  
おしゃべりが すぎて、自分が 何を 話していたのか、  
わすれてしまうくらいです。それでも 彼女は  
おしゃべりを やめません。次々と、思い付く ことを  
しゃべり続けるのです。

「ペチャクチャ、ペチャクチャ・・・」

おしゃべり虫は、自分の おしゃべりを 聞くのが  
大好き。だれかが 立ち止まって 自分の おしゃべりを  
聞いてくれるのも 好きです。それで、だれかが 耳を  
かたむけて くれるまで、ずっと しゃべり続けて  
いられるか 見てみようか 思ったり するのです！



けれども、まもなくすると <sup>かのじよ</sup> 彼女は、<sup>とも</sup> 友だちが  
あまり そばに <sup>こ</sup> 来ず、いっしょに <sup>あそ</sup> 遊んで くれ  
ない  
ことに <sup>き</sup> 気が付きました。「いっしょに <sup>あそ</sup> 遊ぼうと  
<sup>おも</sup> 思って <sup>き</sup> 来ても、あなたは しゃべってばかりで、  
わたしたち、ちっとも <sup>はな</sup> 話せないんだもの。」  
きのう、<sup>しんゆう</sup> 親友の <sup>むし</sup> てんとう虫の <sup>りりー</sup> リリーが そう  
ささやきました。

おしゃべり虫は、お母さんに <sup>そうだん</sup> 相談しました。  
「わたし、おしゃべりするのが <sup>だいす</sup> 大好きなの。  
それって、<sup>わる</sup> 悪いこと？」

「そんなことはないわ！ でもね、お友だちだって、  
<sup>はな</sup> 話したいのよ。だから、お友だちにも <sup>はな</sup> 話させて  
あげないと、<sup>じぶん</sup> 自分が しゃべると <sup>おな</sup> 同じくらい、  
お友だちの <sup>はなし</sup> 話も <sup>き</sup> 聞いて あげたら？ そうすれば、  
お友だちも あなたの おしゃべりに <sup>くわ</sup> 加われるんじ  
ゃ  
ない？ それとね、<sup>はな</sup> 話す <sup>まえ</sup> 前に、<sup>い</sup> 言おうと している  
ことについて <sup>かんが</sup> 考えるように してごらんなさい。  
お友だちの <sup>とも</sup> ためになる <sup>い</sup> ことを <sup>い</sup> 言うように するの。」



つぎ ひ むし むし  
次の日、おしゃべり虫は てんとう虫の リリーの  
ところ<sup>あそ</sup>に <sup>い</sup>遊びに行きました。そして、おしゃべりする  
だけではなく、リリーの <sup>はなし</sup>話も <sup>き</sup>しっかり聞くように  
しました。すると、リリーも <sup>おもしろ</sup>面白い <sup>はなし</sup>話を <sup>た</sup>たくさん  
してくれたので、<sup>とも</sup>友だちが <sup>かんが</sup>考えていた <sup>き</sup>ことを <sup>き</sup>聞くのが  
<sup>たの</sup>楽しく <sup>な</sup>りました。その <sup>けっ</sup>結果、<sup>か</sup>仲良し<sup>なか</sup>二人は <sup>よ</sup>  
いっしょに <sup>たの</sup>すごく <sup>とき</sup>楽しい <sup>す</sup>時を <sup>す</sup>過ごしたのです!

\*\*\*

<sup>ひとり</sup>一人だけ <sup>つづ</sup>しゃべり続けていると、<sup>ひと</sup>ほかの <sup>ひと</sup>人は  
いっしょに <sup>はな</sup>話す <sup>こと</sup>が <sup>でき</sup>できません。けれども、  
<sup>じ</sup>自分が <sup>はな</sup>話すのと同じくらい、<sup>おな</sup>ほかの <sup>ひと</sup>人の <sup>はなし</sup>話も  
<sup>き</sup>聞いてあげるなら、<sup>も</sup>っと <sup>た</sup>たくさんの <sup>こと</sup>が  
<sup>まな</sup>学べるし、<sup>とも</sup>友だちも <sup>よろこ</sup>喜んでくれるでしょう。 <sup>こんど</sup>今度  
<sup>とも</sup>友だちと <sup>いっしょ</sup>にいっしょにいる <sup>とき</sup>時は、<sup>ひと</sup>ほかの <sup>ひと</sup>人にも  
<sup>かなら</sup>必ず <sup>はな</sup>話させてあげましょう!

文：アリーヤ・スミス 絵：アルビ デザイン：ステファン・ミラー  
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2017年、ファミリーインターナショナル  
"Are You a Babbling Bug?"--Japanese  
関連の読み物はこちら ⇒ 子供のための物語、コミュニケーション

